

ノルケイン—ブライトリング出身者が興した新スイスブランド

別冊付録①

WATCH

おかげさまで **売上No.1**
腕時計専門誌 ※2017年10月～2018年9月当社調べ

2019年
新作時計
カタログ

バーゼルワールド&SIHH etc.
新作時計カタログ
2019

100ブランド超
一挙掲載!



[ウオッチナビ]

巻頭特集

2019 SUMMER

有名ブランドの同門フラッグシップが一騎打ち!

決着! 究極の二択

オメガ

ブライトリング

タグ・ホイヤー

スピードマスター vs. シーマスター ナビタイマー vs. クロノマット カレラ ホイヤー-01 vs. カレラ キャリバー-16 etc.



第二特集

時計人の腕にも
スポーツウォッチが光る!

BASEL WORLD SNAP



好評連載

「時計ブランドの肖像」

第8回 IWC

「ハイコンプリの教科書」

第4講 ミニッツリピーター
(パテック フィリップ)

別冊付録②

タグ・ホイヤー
完全マスター
BOOK
2019

TAG HEUER
タグ・ホイヤー 完全マスター BOOK 2019



ドイツプロダクトの真髄「バウハウス」創立100周年記念!

ユンハンスが伝え続ける機能美

“バウハウス最後の巨匠”と呼ばれるマックス・ビルがかつて手がけ、いまもユンハンスが作り続ける定番アートウォッチに限定モデルが登場。本機のモチーフは、開校100周年を迎えた「バウハウス」だ!

構成・文/水藤大輔(本誌)

マックス・ビル バイ ユンハンス
オートマティックLtd1000

Ref.027/4901.02
18万1440円

円と線のみのシンプルな要素を組み合わせながら、時計にとって重要な視認性を十分に確保した名作の特別版。テーマカラーのレッドを効かせ、個性的に仕上げている。アンストラサイトカラーPVD加工SSケースは、直径38mm。自動巻き。3気圧防水。世界限定1000本



バウハウスのデッサウ校舎を裏蓋に描写。窓部分をシースルー仕様にし、バルコニーの赤いドアも再現するなど、こだわりが満載だ

バウハウスの巨匠 マックス・ビル



建築や絵画などマルチに活躍

マックス・ビル(1908~1994年)は、多分野で活躍したスイス人クリエイター。バウハウスで学び、その理念を広く世に知らしめた

マックス・ビル バイ ユンハンス エディション2019セット

Ref.363/2929.00
48万6000円

毎年発表している「マックス・ビルバイユンハンスエディション」の2019年バージョン。8日巻きの機械式テーブルクロックと自動巻きクロノグラフを組み合わせた、222セット限定となる。特別ボックスと各時計のケースバックには、「1つの主題による15のバリエーション」シリーズの1作品が配置される



ドイツ時計の名門が手がけた不朽の名作の特別バージョン

世界に知られたドイツの総合的造形学校「バウハウス」は、産業と芸術の融合を目指して1919年に開校。シンプルに機能を追求めた同校の思想は、モダニズム建築などの盛り上がりと相まって、やがて大きなムーブメントとなっていった。一方、学校としての歴史自体は、ドイツの混迷の時代と重なる不運から、わずか14年で終了した。

マックス・ビルが同校に在籍したのは、最も勢いのあった1927年から。その後、1950年に初代学長を務めたウルム造形大学で、彼はバウハウスの再現に努めたと言われている。そして同年代に、ドイツを代表する時計メーカーであるユンハンスと共同で、クラシックなバウハウス・ウォッチ、マックス・ビルコレクションを開発。これを1956年に発表したのだ。

無駄を削ぎ落としながら、腕時計の実用性を高めたデザイン。それはまさに「機能美」そのものであり、ほぼ姿を変えることなく60年以上も世界中で愛される名作となった。そして今年、バウハウス創立100周年という節目。伝説的な学校で学んだ最後の巨匠が遺した名作が、一挙に手に入る限定モデル。買ったら、今年しかない。